

PI-Forum 誌編集委員から

アド・ホックに或いは実験として実施されてきた社会的合意形成の試みは、今後徐々に制度化に向かうかもしれません。既に自治体の中には、審議会の一部市民委員を募集するなどの制度化を進めているところもあります。制度化にあたっては、「誰」が参加するか、決定との距離をどう置くか、既存の制度にどのように位置づけるかなどの課題の整理や意義の確認作業を行う必要があります。そのためには、分野横断的な議論と実践の積み重ねが重要となるでしょう。**PI-Forum** 誌がそれに役立つ場となればと思います。(久保)

私が専攻する都市工学分野では、饗庭論文の記述のように30年来、「参加型まちづくり」という「参加と対話」の社会実験を蓄積しています。しかし、実践偏重のため理論構築が遅れています。一方、海外事例や理論を活かし、日本に相応しい市民参加を模索している分野もあり、まちづくりの経験知も含めた多様な領域間の知恵の交流は相互補完的效果が期待されます。このメディアが知恵の交流の場になりえるのか、挑戦かも知れません。(杉崎)

環境コンサルタント業のかたわら、環境分野とスポーツ分野の複数のNGO/NPO活動に係わっている。NGO/NPOが、行政組織や企業組織と並んで、社会的合意形成プロセスに係わる1個の組織主体として、安定した信頼性を勝ち得るには、社会的に言えば「総務業務」がきちんとできることが必要。しかし実感するのは、それがなかなか難しく、内部の合意形成すらままならないという現実。NGO/NPOの組織ガバナンスといったテーマも、探求してみたい。(西原)

社会基盤整備の現場に限らずファシリテーター的な役割を微力ながら担う機会が増え、市民参加協働型社会の到来を肌身で感じる昨今となりました。時

として、社会基盤整備におけるPI情報のみでは解決し得ない問題に直面し、異分野の知見や事例情報を必要としております。実施して効果を生み出すことが求められる"2nd ステージ"において、多くの方に**PI-Forum** 誌をご活用頂けましたら幸いです。(水谷)

既存の学術分野、事業分野、政策領域等にとらわれず、「社会的合意形成」を軸に幅広く研究と実践の情報交換を推進する場として**PI-Forum** 誌を創刊しました。学術論文の査読、引用などの社会的過程を通じ、学界で認められる用語、理論、方法論、そして科学的事実についてまでも暗黙のルールが形成され、気がつかないうちに大多数の研究者がそのルールに従い、さらにルールを再生産しているという説があります。本誌は、既存のパラダイムやタブーを取っ払い、異なる分野の研究者と実務家が見えない垣根を越えて情報と知見を共有する、誌上の社会実験だとも言えるでしょう。次号は合意形成の実践的方法論に着目します。ご期待ください。(松浦)

PI-Forum 誌編集委員

松浦 正浩 (編集総括) [**PI-Forum** 理事]

マサチューセッツ工科大学都市計画学科

久保 はるか

東京大学大学院法学政治学研究科

杉崎 和久

東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻

西原 弘

有限会社サステイナブル・デザイン研究所

水谷 香織 [**PI-Forum** 理事]

岐阜大学工学部

PI-Forum 誌 公募原稿募集

PI-Forum 誌は、公共政策、公共事業、まちづくりなどの分野における社会的合意形成に関する研究や事例を、実務家と研究者が幅広く情報共有することを目的に、年2回発行されます。**PI-Forum** 誌はインターネット(ウェブサイトからのダウンロード)と郵送で配布されます。社会的合意形成の諸課題に関心のある行政職員、大学研究者、コンサルタントの目に留まることが期待され、みなさまの研究と実践の成果発表、広報の場として、大きな効果が期待されます。

第2号は合意形成手法各論(いわゆるテクニック、プロセスなど)をテーマに、具体的な方法論に関する比較検討を行ないます。第2号についても、事例研究から文献レビューまで、原稿を幅広く公募する予定です。なお、原稿はA4判2段組2~4ページ(写真図表等込)で、投稿料は無料です。採用された原稿の著作権はNPO法人ピーアイフォーラムに帰属します。

詳細が決まり次第、**PI-Forum** のウェブサイト <http://www.pi-forum.org/> にて公募要領を公表いたします。

PI-Forum 誌 広告出稿募集

PI-Forum 誌は幅広い情報の共有と伝播を目的に、インターネット上で無料配布しておりますが、インターネットの維持管理費用、各種研究機関への冊子版無償配布費用、その他郵送費、通信費などを広告収入により捻出しております。**PI-Forum** 誌(冊子版)は、行政機関や各種研究機関の公共政策、合意形成、社会資本整備に特に関心の高い方々を対象に無償配布しており、当該分野に関連する広告効果はきわめて高いと自負しております。公共政策分野のお仕事をなさっているみなさま、ぜひ広告出稿をご検討ください。広告出稿に関するお問い合わせは info@pi-forum.org (担当:松浦) までお願いします。

NPO 法人 *PI-Forum* のご案内

いま、何が問題か？

近年、環境問題、まちづくり、社会資本整備、ゴミ処理施設立地等様々な分野で、行政対市民、地域対地域など関係者間の利害対立、信頼感の欠如といった問題となっています。その結果、社会として解決すべき問題が放置され、誰もが納得できるプロセス、解が存在しないことによる社会的損失が発生している事例が多く見られると考えられます。また、生命工学等の新たな科学技術の導入に関しても、多様な価値観を持つ国民間のコンセンサス形成も課題となっています。そこでは、あるべき政策を立案・選択していく上で、合意形成の仕組み・技術・知恵を社会全体の財産とすることが課題解決の大きな鍵となっていると考えられます。

PI-Forum の役割

我々は、合意形成の重要性に対する社会的な認識を高め、中立的立場から合意形成の仕組み・技術・知恵を社会に提供します。

PI-Forum の目指すもの

我々は、行政が政策決定過程に市民の参加を促すとともに市民一人一人が積極的に発議するための新しい合意形成の仕組みを提案し、提供することにより、市民が主体的に合意形成の取り組みに参画する社会を実現するとともに公共サービスの満足度を高めることを目指しています。

PI 3つの定義

Public Involvement	行政が政策決定過程に市民の参画を進めること
Partnership Incubation	パートナーシップを育む環境をつくること
Public Initiative	市民一人一人が積極的に発議・提案していくこと

役員 (2005年1月現在)

理事長	石川雄章 (国土交通省)	副理事長	城山英明 (東京大学 法学部 助教授)
理事	梅本嗣 ((株) 博報堂)、菊池豊 (高知工科大学 総合研究所 助教授)、田熊伸好 (スピリット 代表)、田中秀明 (財務省 財務総合政策研究所 主任研究官)、松浦正浩 (マサチューセッツ工科大学都市計画学科)、水谷香織 (岐阜大学 産官学融合センター 日本学術振興会特別研究員)、矢嶋宏光 ((財) 計量計画研究所 都市政策研究室 室長)		
監事	鈴木達治郎 ((財) 電力中央研究所 上席研究員)		

PI-Forum 最近の活動報告

市民参加のガイドラインを考えるシンポジウムと合意形成トレーニング体験コース見本市 (2004年11月29,30日開催)

合意形成に関する有識者や全国の実務者とのネットワークを通じ、市民参加がどうあるべきか、どう方針づけられればいいのかを様々な角度から検証し、『市民参加のガイドライン』としてとりまとめるプロジェクトをスタートしました。その中間とりまとめに向け、考え方や全国各地での実体験を広く共有する機会とするため、『市民参加のガイドラインを考えるシンポジウム』を開催しました。また、対話の仕方、会議の運営、プロセスの組み方などに関する各種のスキルに触れ、一度にいくつものコースを体験受講できる機会として、『合意形成トレーニングコース見本市!』を開催しました。

メールマガジン・ウェブサイトによる情報提供

実務家へのインタビュー、イベント報告、書評など最新情報満載のメールマガジン (購読無料・毎月発行)、ワークショップ等イベントの記録、映像情報など満載のウェブサイトなどを通じ、3つの *PI* に関連する情報を幅広く提供しています。詳しくは <http://www.pi-forum.org/> をご覧ください。

コンセンサス・ビルディング手法研修会 (2004年8月26~28日開催)

土木学会四国支部との共催で、近年米国において幅広く活用されつつある合意形成手法、コンセンサス・ビルディングに関する3日間の集中セミナーを、米国から講師を招き高松市にて実施しました。約20名の若手実務家、研究者らが、交渉学の理論的基礎から具体的な合意形成プロセスの設計演習まで、現場を意識した密度の濃い研修を体験しました。

PI-Forum ご参加のおさそい

PI-Forum では、市民団体、大学、行政、民間等の幅広い分野・立場の方々のプラットフォームを形成するため、幅広く会員を募集しております。*PI-Forum* の自主的・独立的な活動は、会員、協力者に方々によって支えられています。ぜひ、ご入会を検討下さい。

会員特典

- (1) *PI-Forum* 主催の各種イベントに優先参加受付、参加費割引
- (2) 会員メーリングリストや会員フォーラムをはじめとする議論・親交の場への参加
- (3) 会員提案型事業への参加・支援
- (4) *PI-Forum* 主催の各種プロジェクトに主体的に参加

会費

正会員：入会金 3,000円 年会費 6,000円
学生会員：入会金 3,000円 年会費 2,000円

会員期間 年度会員制度 (5月1日~4月30日) で、申込みは四半期ごとの受付となります。

会員お申込は *PI-Forum* のホームページ <http://www.pi-forum.org/> から申込書をダウンロードいただくか、*PI-Forum* 事務局まで申込書をご請求ください。

賛助会員制度もご用意いたしております。詳しくは info@pi-forum.org までお問い合わせください。

特定非営利活動法人 (内閣府認証) ピーアイ・フォーラム *PI-Forum* <http://www.pi-forum.org/>
事務局 〒780-0862 高知県高知市鷹匠町1丁目3-22